



第2回熊本北高校生徒国際科学フォーラム

KSISF2023開催



図1 KSISF2023の様子 ハイフレックス型ポスター発表会として実施

7月6日に、本校主催の生徒国際科学フォーラムを開催しました。シンガポールのSST及び福島県立白河高校の生徒がオンラインで参加しました。さらに、ホームページを利用したオンデマンド発表会では米国ヘルゲイト校

も参加しています。当日は、理数科・英語科及び普通科3年生によるポスター発表が行われました。オンラインと同時に会場のALT6名や後輩に対して発表を行いました。さらに、今年はサプライズゲストとしてコペンハーゲン

大学の森准教授が現地参加をしてくださりました。また、今回は大会運営の新しい取り組みとして、進行やテクニカルサポートを英語科と理数科の2年生が行いました。次年度の拡充に向けてさらに改善を続けたいと思います。

KSISF2023審査結果発表！

【Science Presentations】

Best Overall (最優秀賞)

- SST物理班 「Investigation of how simulating microgravity at different clinostat rotational speeds will affect the growth of plants」
- 北高理数科生物班 「Determining Tomato Ripeness through Temperature and Color Analysis」

Honorable Mention (優秀賞)

- SST化学班 「Investigation of Gallium-Aluminium ratio on the production of hydrogen gas」

【Humanities Presentations】

Best Overall (最優秀賞)

- 北高普通科 「For All Children to Be Nurtured」
- 北高英語科 「Economic Disparity」

Honorable Mention (優秀賞)

- 北高英語科 「Inequality in the World」

自然科学部門では、最優秀賞にSST物理班と本校生物班が選ばれました。SSTとの合同発表会で最優秀賞を本校生が獲得する初めてです。また、人文科学部門では、普通科代表と英語科が最優秀賞に選ばれました。



RECRUIT「キャリアガイダンス」最新号(7月発行)に 前田先生の授業実践やSSHの取組みが紹介されました



「みているようで、みえていない」を体感。
洞察力を高め、考えてやり抜く力も育む

RECRUITのキャリアガイダンスの「教科でキャリア教育」のページに、本校前田先生の化学における探究型授業の様子が掲載されました。授業づくりにおける予想や仮説の大切さに等について紹介されています。

さらに、北高SSHのテーマ設定法や職員研修ハンドブックについても記事の中で紹介されました。

図2 RECRUITキャリアガイダンス Vol.447, p54より引用